

おんじゆく



昭和58年9月

第239号

千葉県御宿町役場



力を合わせて（御宿小学校 運動会）。

昭和57年度 決算報告

町の財政は どのように運営されたか

財政事情の公表

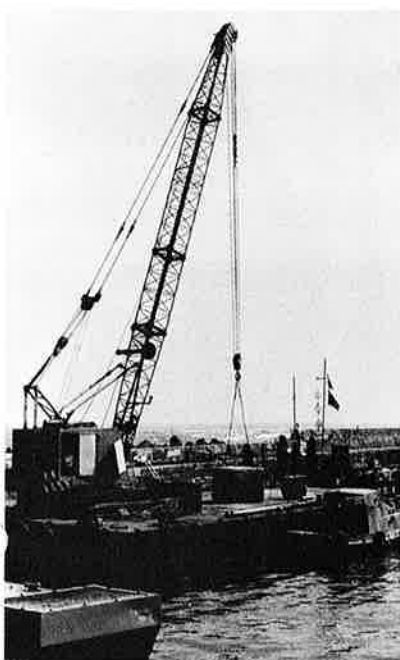
健全財政を維持

一般会計は七、三四一萬五千円の黒字決算

昭和五十七年度の「町の家計簿」がまとまりました。一年間の町の仕事ぶりを、ここに公表します。

昭和五十七年度の町の財政運営は、庁舎建設などの大事業を控えて、健全財政の堅持を大きな柱として、生活基盤の整備を重点に進めました。

その結果、一般会計の収支は、昭和五十一年度から続いた一億円台の黒字は達成できませんでしたが、形式収支で七千三百四



農業・漁業の基盤整備や道路などの生活環境の整備に重点が置かれた
 (▲ 御宿漁港改修)
 (◀ 須賀、実谷線道路改良)

● 一般会計

財政調整基金に

一億三千万円を積立

昭和五十七年度の一般会計の決算額は、歳入で十七億五千二百三十二万七千円、歳出で十六億七千八百九十一万二千円。歳

入歳出ともに、前年度を上回りました。

収支の状況は、歳入決算総額から歳出決算総額を差引いた形式収支で、七千三百四十一万五千円の黒字。

また、みなさんからの要望を満たすための財源として、財政調整基金へ一億三千万円を積立することができました。

しかし、ごみ処理場や庁舎などの大規模事業の財源不足は、借入金で賄うことになり、財政状況は、必ずしも樂觀できません。

● 歳入

国・県支出金が伸びる

歳入の総額は、十七億五千二百三十二万七千円で、前年度と比較して、一億二千五百四万七千円の増加となりました。

主な財源は、

○ 地方交付税 四億七千七百六十七万二千円

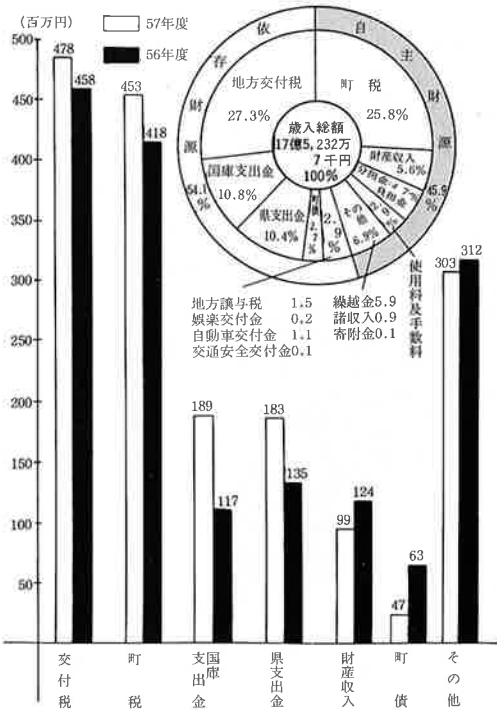
○ 町税 四億五千二百五十万五千円

○ 国庫支出金 一億八千八百九十三万七千円

○ 県支出金 一億八千二百五十八万九千円 などです。

これらを、収入の調達方法により分類すると、町税などの町が自主的に確保する自主財源と、国や県の意志決定により収入される依存財源に分けられます。五十七年度の自主財源は、八億五千四万二千円、前年度をやや下回る結果となりました。これは、繰越金と不動産売却収入の減少によるものです。依存財源は、九億四千六百九十二万五千円で、前年度を一億二千万円も上回りました。これは、夷隅開発事業の須賀・実谷線道路改良や土地改良事業などの国、県支出金の増加によるものです。

昭和57年度一般会計歳入決算対前年比較と財源別構成比



昭和57年度の主要建設事業

	事業名	工事費 (千円)	内容	
農林・水産業費	林道丸山線舗装	6,000	ℓ=430m, W=4.0m	
	向井線開設	5,070	測量 ℓ=1,400m	
	上布施土地改良	60,600	7.0ha	
	御宿漁港改修	40,000	物揚場改良	
	漁業近代化施設整備	5,665	岩和田港油タンク	
	高山田土地改良	60,000	6.5ha	
商工費	清水川遊歩道新設	9,852	ℓ=210m, W=3.5m	
	須賀・実谷線改良	201,000	ℓ=1,120m, W=12m	
土木費	須賀・浜・久保線舗装	16,500	ℓ=360m, W=12m	
	1-5号橋梁整備	16,160	ℓ=15.64m	
	裾無川河川改良	12,000	護岸工	
	上落合川	12,000	〃	
	堺川	2,950	河床床止工	
	六軒町住宅整備	4,000	敷地山止工	
	生活関連道路改良 排水整備	54,098	20路線	
	消防費	防火水槽新設	3,800	
		消防ポンプ車購入	8,300	六軒町(第三分団)
	災害復旧費	公共土木施設災害復旧	7,625	河川道路各1ヵ所
農業施設災害復旧		3,933	水路2ヵ所	
漁港施設災害復旧		12,250	岩和田漁港	

昭和57年度一般会計決算収支 (単位千円)

区分	昭和57年度	昭和56年度	増加額	増加率
1. 歳入総額 ㉖	1,752,327	1,627,280	125,047	7.7
2. 歳出総額 ㉗	1,678,912	1,523,979	154,933	10.2
3. 差引 ㉖-㉗ ㉘	73,415	103,301	△29,886	△28.9
4. 翌年度へ繰越すべき財源 ㉙				
5. 実質収支 ㉘-㉙ ㉚	⑦ 73,415	④ 103,301	△29,886	△28.9
6. 単年度収支 ㉚-①	△29,886	△52,751	22,865	43.4
7. 積立金 ㉛	130,000	81,999	48,001	58.5
8. 繰上償還金 ㉜				
9. 積立金とりぐし額 ㉝				
10. 実質単年度収支 ㉚+㉛+㉜-㉝	100,114	29,248	70,866	242.3

生活の基盤整備を
最優先

● 歳出

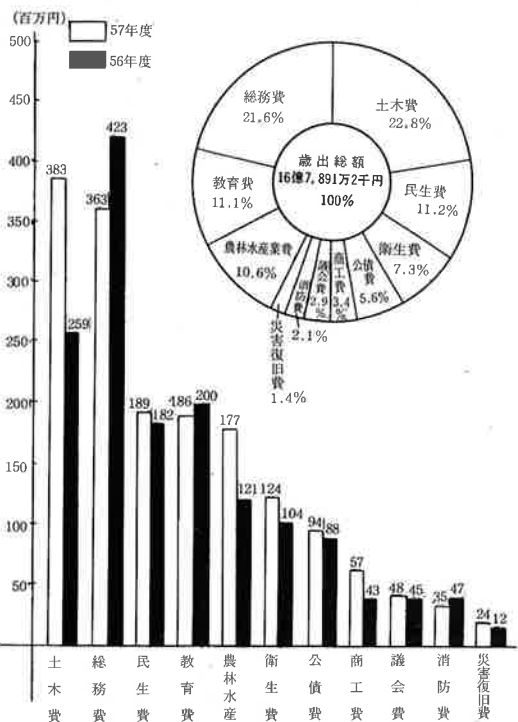
歳出の総額は、十六億七千八百九十一万二千円で、前年度と比較して一億五千四百九十三万円の増加となっています。

歳出決算を目的別にみると、道路や橋などの建設事業に投資した土木費が、三億八千二百七十九万円で最も多く、次いで財政調整基金への積立一億三千万円を含んだ総務費が、三億六千二百六十六万七千円。以下、民生費、教育費、農林水産業費、



衛生費の順となつていきます。前年度と比較して増加が著しいものは、漁港災害などの土木施設の災害復旧費。夷隅開発事業の関連道路事業費。高山田堰田地区の農業構造改善事業によ

昭和57年度一般会計目的別歳出決算対前年度比較と構成比



税収は所得の伸びに

よる自然増

町の財政運営に欠くことのない町税は、四億五千二百五十万五千円と、前年度と比べ三千四百三十七万七千円増加しました。これを町民一人当りの負担額で見ると、五万二千三百九十二円、前年度から比べ約四千円の負担増。これは、所得の伸びが大きな要因です。

また、町税収入が、歳入総額に占める割合は、二五・八%と前年度とほぼ同じ割合を示しています。

〈町税の内訳と町民1人当りの負担額〉

町民1人当りの負担額	町民1人当りの負担額
○電気税 2,673円	○町民税 20,722円
○木材引取税 3円	○固定資産税 20,407円
○特別土地保有税 3,437円	○軽自動車税 381円
○目的税入湯税 16円	○たばこ消費税 4,753円

町有財産

役場庁舎や公民館、学校などの町有財産は、町民全体のものであり、町の福祉向上に大きな役割を果たしています。その管

理運用は、慎重かつ適切に行う必要があります。昭和五十八年三月三十一日現在の町有財産の状況は、別表のとおりです。

昭和57年度町有財産の状況

区分	昭和56年度末	昭和57年度中	昭和57年度末
	現在高	増減	現在高
土地	667,581 ^m	△3,606 ^m	663,975 ^m
建物	23,011 ^m	△568 ^m	22,443 ^m
土地開発基金	698 ^m	0	698 ^m
出資による権利	2,483,000 ^円	25,000 ^円	2,508,000 ^円
物品	26 ^点	1 ^点	27 ^点
財政調整基金	300,852,840 ^円	130,000,000 ^円	430,852,840 ^円

町債(町の借金)

多額の経費を必要とする事業で、その内容が後年の町民にも経費を負担させることが望ましいものや災害復旧など緊急を要するものについては、県の許可を得て、国や市中銀行から長期の借入れを行い、事業を実施します。これを、町債と呼んでいます。昭和五十七年度の町債の現在高は、

- 一般会計 六億五千二百五十九万七千円
- 特別会計 二千八百四十三万五千円 (プール建設債)
- 企業会計 四億六千五百五十三万二千元 (下水道事業)



▲高山田・堰田地区の土地改良

●御宿町営プール特別会計決算

昭和57年度特別会計の決算

- 御宿町国民健康保険特別会計
 - 歳入 4億550万5,811円
 - 歳出 3億9,594万4,675円
- 御宿町老人保健特別会計
 - 歳入 2,141万2,010円
 - 歳出 1,591万439円
- 御宿町営プール特別会計
 - 歳入 2,659万4,989円
 - 歳出 2,212万5,905円

泳げる環境づくりを行いました。工事費は、一般会計からの繰入金四百五十万円と、五十六年度の繰越金七百五十万円を充当。この結果、決算規模は、歳入歳出ともに前年度を大きく上回りました。

プール利用者数は、三万五千七百九十一人。七月に水温二二度未満の日が三日あり、県の指導要綱に添って閉鎖するなど、全体に冷たい夏の影響をうけました。

五十六年度と比較すると、二千九十八人の減、金額で九十三万四千四百円の減収です。

●御宿町老人保健特別会計決算

本決算は、今年二月に施行された老人保健法に基づき実施した、二月受診分の老人医療費の決算です。

決算規模は、歳入で二千四百一十一万二千十円、歳出で一千五百九十一万四千三十九円。

実収支は、五百五十万一千五百七十一円です。これは、繰越金として各保険者に負担割合に基づき償還されます。

今年二月の老人医療費として国民健康保険連合会などに支払った額は、一千五百八十六万二千八百二十円。

●御宿町国民健康保険特別会計決算

昭和五十七年度の御宿町国民健康保険特別会計決算は、歳入で四億五百五十八万八千八百一十円(対前年度比〇・六%増)、歳出で三億九千五百九十四万四千六百七十五円(対前年度比三・五%増)となりました。

歳入をみると、国庫支出金が全体の五八・三%を占め、次いでみなさんに納めていただく保険料が、三五・五%の割合とな

っています。

保険料は、年々収入未済額が増え、決算時点で二千万円を超えてしまいました。保険料は、わたしたちの健康を守る財源です。保険料の収納に、みなさんのご協力をお願いします。

一方、歳出は九四%が保険給付費関係で、これに老人医療に拠出する金額を加えると、九五%が医療費等として支出されました。これは、前年度と比較して四・八%の上昇です。

ちなみに、二月現在の老人医療の対象者は、八百四十一人。対象者一人当りの医療費は、一万八千八百六十一円となります。

経営改善進むが

なお厳しい事業展開

昭和五十七年度御宿町水道事業決算

概況

我が国の水道事業は、創設以来九十年余を経て、この間、著しい発展を遂げてまいりました。そして、水道の普及率が九十二パーセントになろうとしています。いまや水道は、国民の日常生活に不可欠な存在となつてきました。それだけに当町の水道事業はさまざまな課題をかかえているといえます。

さて、本年度の水道事業は、加入戸数、使用水量とも前年度に引続き増加の傾向にあります。その経営環境は依然として厳しいものがあります。

五十七年度も水道加入促進のPRを積極的に展開しました。

一億円の繰上げ償還で金利負担の軽減

水道経営は、本年もきびしい状況のもとで、大きな経営改善は実現できませんでした。一億円の繰上償還をした事により後年度の負担の軽減に寄与するものと思えます。また、十月一日から、一部料金改定を行い、国の高料金対策の助成が得られ

水使用 年間約三十二万トン

年間給水状況は、前・後期とも順調に推移し、毎月ほぼ三百万円の収益を確保することができました。年間の使用水量は、三十一万七千トンで、加入一戸

一月当り使用量は十八トン強となります。

本年度も経常的経費の節約を引続き行った結果、費用総額は一億五千五百六十六円となり

その結果、九十戸の新規加入があり、五十八年三月末の加入戸数は千四百四十四戸となり、給水区域の世帯数に対し、七十二パーセントの加入実績となりましたが、この中には二百四十戸のマンション・天の守の一部などが含まれており、それらを除くと約五十九パーセントの加入率となります。

予算の消化割合は九十八・八パーセントとなりました。

営業収益は五千八百三十九万三千円。給水収益(水道料)は、四千四百三十二万四千円で前年度に比べ約二十パーセント伸びました。

このように経常欠損金が減りいくらか経営面に明るい兆しがみられますが、有収率の低下、新規加入増に伴うリスクもふえ未収金が増えている事実や他会計からの助成を仰いでいるという

ことを常に念頭におき、今後は、ダム直送管布設や開発地区の進展に伴い暫定管の布設替など懸案事項に対応していく所存であります。

業務状況

給水戸数	千四百四十四戸
給水人口	四千九百八十二人
年間総配水量	三十五万七千 ³ m ³
年間総使用量	三十一万七千 ³ m ³
有収率	八十八・八四%
一日平均配水量	九百七十八 ³ m ³
一日平均使用量	八百六十九 ³ m ³
一人一日平均使用量	百七十四 ³ ℓ

水道事業 ダイジェスト

- 一ヵ月平均何トンの水が使われたか。 二万六千³m³
- 一日最大使用量は 二千五百三十³m³
- 一戸一ヵ月平均使用水量は 十八³m³
- 月平均の水道の売り上げは 三百六十九万円
- 働く職員の人件費は月どの位か。 二百三十六万円
- 一トン(1000³ℓ)の水をつくるのにどのくらい経費がかかるか。 四百四十二円
- いままでの利益(または赤字)は) 赤字額一億三千九百万円
- 手持ち現金預金は 八千四百九十万円
- 借入金 四億六千二百万円

57年度決算を認定

昭和五十八年の御宿町議会第三回定例会は、九月七日から九日まで開かれ、昭和五十七年度の一般会計決算など十三議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

議決された案件は、つぎのとおりです。

- ▽専決処分事項の報告
- ▽町有地の処分について
- ▽町道の廃止について
- ▽水道事業給水条例の一部改正
- ▽ねたたり老人福祉手当支給に関する条例の一部改正
- ▽母子家庭医療費助成に関する条例の一部改正
- ▽58年度水道事業会計補正予算
- ▽58年度町営プール特別会計補正予算
- ▽58年度老人保健特別会計補正予算
- ▽58年度一般会計補正予算
- ▽57年度各会計決算

御宿町議会第三回定例会

今年も短期集中型の夏

夏の観光概況報告

昨年の梅雨明け宣言は八月四日。今年は七月二十六日。昨年よりも九日も早い梅雨明け。

七月前半の冷夏のわりには七月の入込数は多く三十八万八千八百人、対前年比百十三%と好調。梅雨が明けると本格的な夏の太陽は強烈だが短かった。



▲台風の影響をうけたものの入込数は110万人を突破

八月に入って台風五、六号の影響で十四、十七日の海は大荒れ。台風が去った十八日からは日差しが弱く、中盤からの入込は低調で七十八万人。対前年比七十七%にとどまりました。海水浴客の内訳は、東京、神奈川、埼玉方面からの若者で賑わった。全体では、本年の入込総数は百十万七千人で昨年より十七万三千人の減。対前年比八十七%となりました。しかし、国鉄御宿駅の夏季輸送（七月十六日、八月二十一日まで）の取扱収入は九千五百七十三万九千円、対前年比百四%。乗車人員七万一千三百三十九人、対前年比百・八%。特別急行券の

発売二万八百九十三枚、対前年比百三十九%と好調だったが、乗客の中には「一番利用したい時間帯は、料金の高い特急が多い」などという不評の声が多く聞かれた。

国鉄に対し、小回りのきくマイカーの利用者も多く、夏期利用総数は二万一千六十一台と昨年とほぼ同数の入込数となり、国道一、二八号線や海岸道路などは連日渋滞が続いた。

また、駅前案内所の扱い数は予約一万三百七十七件、当日受付六千三百四十七件、総計一万六千六百五十七件、昨年より七百四十五件多くなった。

今年も大声で

醜い客引き行為に苦情の声

毎年売店経営者が同じということからか……今年も客引き行為は依然後を絶たず、客集めに懸命の海岸売店

この問題は、海岸売店経営者が変わることなく毎年売店を出せる……というところに端を発しているようである。

その都度の注意・通報、また、守るべきことを守らないで、違反等を繰り返すようであれば、今後、これらについて十分なる協議、検討をしていく必要があると思う。

呼び込みについては、自分だ

けの利益だけを考えるのではなく、人の迷惑も当然考えるべきである。

浜の売店などは、夜もやっと静まった午前二時（真夜中）から大声で駐車場の案内と称して客集め。注）だれも依頼していない）売店が商売であれば、漁民、勤め人等も同じです。

だれもが休む時間帯は他人に迷惑をかけないよう十分な自覚と配慮が必要。

また、中央海岸の売店経営も考えてきて、従来の割引券から海の家案内用名刺に変わった。

名刺は変わっても内容は変わらず以前よりも悪質になってきた。駅前道路等で、たくみに名刺を渡し、路上での客引き、客集めに余念がない。

これらの客引き行為はすべてアルバイト！聞いてみると、おばさんがやってこいというの……やらざるを得ない……来年はバイトに来ませんから……という声が返ってくる。

客引き——暴言——トラブル
また、早朝のゴムボートの貸出し、私有地での駐車料金の暴利等々、本年も多くの問題を残した夏でした。

目先の利益だけにとらわれず、接客態度や客引き行為につ

いて真剣に考えなくてはならない時なのです。

警備・監視体制は、

万全

七月下旬から八月中旬までと真夏日は少なかったが、海岸は連日青旗のためか、お客で賑わいました。

炎天下、今年も地元大原警察署員を始め、千葉県警察のご協力により、海岸警備、駅前の交通緩和等々、大なる成果がありました。

監視体制もアルバイト三十五名（一日最大）により、昨年以上の機敏な活動・陸・海ともに迅速な行動により無事終了することができました。

関係各位のご協力ありがとうございました。（商工観光課長 神定正寿）

郡内市町村の海水浴場入込数 昭和58年

勝浦市	1,022,000人
大原町	765,000
岬町	125,500
御宿町	1,107,000

プールの入込状況

今年のプール開きは七月八日。七月前半が冷夏のため七月の入場者は少なく八千九百九十八人。昨年より一千四百十五人減。

八月に入ってから入場者は少なく二万五千五十人、昨年よりも一千二百二十八人減。

本年の入場者数は三万三千二百四十八人で昨年より二千五百四十三人減、対前年比九十三%となりました。

その内容につきましては、大人一万四千三百十九人、子供一万三千四百十人、学割五千五百十九人となりました。



町商工観光課では、夏の観光客を対象にアンケート調査を行いました。調査は、八月一日から七日まで、ホテル・民宿などの宿泊施設をはじめ、町営プール、海岸案内所で、十五項目の質問に答えていただきました。

このほど、中間集計が出ましたので、一部をご紹介します。

Q1 どちらから来られましたか。(以下、民宿での調査)

- 東京区部 61 ○東京都下 32
- 埼玉県 53 ○千葉県内 36
- 神奈川県 15 ○その他 9

Q2 御宿へはどのような乗物で来られましたか

- 国鉄 116 ○自家用車 87
- バス 1 ○その他 2

Q3 宿泊場所の予約はどのようでしたか。

- 旅行会社などを通して 10
- 民宿・旅館組合を通して 19
- 知人・親戚を通して 54
- 自分で直接予約 67
- その他 45

名所があるから 27
 ○その他 31

○ナイトレジャーを楽しめる場所の整備 70
 ○道路の整備 59
 ○自然の保護 59
 ○案内・情報サービスの強化 49
 ○町並の整備・美化 47
 ○宿泊施設の質やサービスを向上させる 46
 ○新鮮な食べ物を提供する 45
 ○その他 14

観光客の見た御宿 ★観光アンケート調査

由は、(主なもの)

- よい海水浴場があるから 105
- 宿がとりやすかったから 55
- 近くて便利だから 51
- 料理やサービスがよい(と聞いたら) 41
- 安上がりですむから 36
- 月の沙漠やメキシコ塔などの

- 人とのふれあいの場がある 43
- その他 15
- Q6 観光地御宿に望むことは
- 海水浴場を整備する 108
- 自然の中で楽しむレクリエーション施設の整備 106
- 楽しい催しや企画をたてる 104
- スポーツ施設の整備 78

【年齢別】
 ○10代 78名 ○20代 44名
 ○30代 40名 ○40代 32名
 ○50代 7名 ○60代 2名
 ○その他 2名
 【男女別】
 ○男 101名 ○女 91名

水道料金値上げについて

1m(ドラム缶5本分)につき20円の値上げ
 仲秋の候となりましたが、皆様にはいかがお過ごしですか。

物価の秋とはいえず早速、値上げのお便りで心苦しい限りです。町営水道事業が営業を始めて五年が経ちますが、皆様のご理解とご協力をいただき加入戸数が増えています。しかしながら、水道経営は依然として厳しい環境のもとにあります。五十七年度決算見込みで千八百万円の赤字ができました。累積の赤字額は

今回の値上げも前回同様、国の補助金の交付を受けられるように家庭用水道料を1m当り二十円値上げし、10m当り千四百円としました。九月の定例議会で承認されましたので、十一月分から新しい料金になりますのでよろしくお願いたします。大変出費のかさむこのごろ、誠に心苦しいのですが、実情を

ご賢察下さりご協力をお願い申し上げます。なお、十一月からは、隔

月検針、隔月徴収となりますので重ねてご協力をお願い申し上げます。

1. 近隣市町の水道料金

市町名	1m当り料金	備 考
大多喜町	150円	
夷隅町	140	
大原町	150	超過料金1mにつき170円
勝浦市	83	
御宿町	140	(予定) 11月分から

2. 公共料金

公共料金名	料 金	備 考
電 気	3,620	10A契約、月150W使用の場合
新 聞	2,600 (セット)	日経 2,800
	2,100 (朝刊)	日報 1,700
テ レ ビ	880 (カラー)	
	520 (白黒)	
電話(住宅)	1,200 (共同)	秘話
	1,400 (単独)	
(事務)	1,700 (共同)	秘話
	2,000 (単独)	
水 道	1,500	10m使用×140=1,400円 メーター使用料(13")100円、1,500円

みんなの老後

増える町の老齢人口

九月十五日は敬老の日。町では、七十歳以上のお年寄りを招待して、敬老会を開き、長年の労をねぎらいました。

九月十五日現在、町内には七十歳以上のお年寄りは、八百五十五人。町の総人口の一〇・二パーセントの割合となっていています。男女別に見ると、男性三百

二十人に対し、女性は五百三十五人。女性の平均寿命の長さを知ることができま

年々進む高齢化社会、そしてやがては訪れる老後——お年寄りだけの問題ではなく、自身自身の問題としてとらえ、みなで「老人福祉」について考えてみましょう。

大切なお年寄りの

生きがいづくり

老人福祉対策は、年ごとに整備が進み、国や県をはじめとし

て各種の制度があります。

しかし、お年寄りの真の幸せは何なのか——多くのお年寄りの皆さんに耳を傾けてみると、お年寄りの願いは、年金の増額や医療福祉の充実だけではないことがわかります。

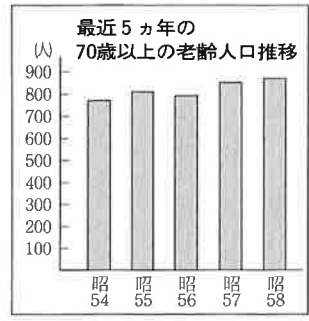
お年寄りは、長年培ってきた知識や技術、人生経験を生かして社会の一員としての役割を果たしたいと願っています。

そのためには、よりよく生活するための学習機会の提供、経験や知識を生かし、社会的に活用できる環境づくりを推進することが重要になってきます。

老人クラブを中心に

楽しい学習の場

町では、お年寄りの皆さんの



九十歳以上の

お年寄りは十八名

九月十五日現在、九十歳以上のお年寄りは、町内に十八名。最高齢者は、実谷九七六番地の吉野ツギさん(九十六歳)です。

町では、七十歳以上のお年寄りや結婚五十周年を迎えたご夫妻などに祝い品を贈り、長い間の労をねぎらいました。

金婚式を迎えたご夫妻

住 所	お 名 前
久保2,137番地	長谷川平吉、愛 ご夫妻
六軒町157-52	雪古 清、栄子 "
" 44	奥田 高一、うめ "
実谷240	吉野 正之、こう "
" 524	吉野 等、きみ "

90歳以上のお年寄り

(年齢は58年9月15日現在)

吉野ツギ	96歳	女	実谷976
鶴岡恒三	95	男	新町625
水野まん	93	女	岩和田1,123
若山ちよ	93	女	" 825
小松志よ	93	女	浜448~2
小枝ちた	93	女	六軒町450
渡辺ぶん	92	女	新町471
大地戈司	92	男	" 264
平野はな	91	女	上布施1,505~3
竹内力蔵	91	男	久保2,172
井守マツ	91	女	新町466
井上はつ	91	女	六軒町288
大地むめ	90	女	上布施2,226
君塚たか	90	女	須賀580
君塚みの	90	女	実谷1,075
網島つ志	90	女	新町590
白鳥とり	90	女	久保1,361~2
佐藤一二	90	男	上布施2,189

お年寄りを交通事故から守ろう

豊かな老後は

まず健康づくり

豊かな老後を過ごすには、まず健康でなければいけません。町では、病気の早期発見と自己管理を目的に、毎月「血圧相談」と「健康相談」を行っています。また、住民検診をはじめ各種検診も毎年実施しています。

「自分の健康は自分で守る」ためにも、積極的に町の相談事業や定期検診を受けるなど、自分の健康管理に努めましょう。

今月一月から六月までの交通事故死者数は、全国で四千四百十九人と、昨年に比べ二百四十五人(五・九%の増加)となっています。

死亡事故の内容をみると、相変わらず子どもとお年寄りが多く、とりわけお年寄りの犠牲者が目立ちます。

そこで、お年寄りの事故防止

に焦点を合わせ、交通安全の面からみたお年寄りの心理と行動特性について考えてみました。

○変化する交通状況に

対応できないケース

お年寄りは、交通ルールをはじめとする「交通環境」の変化についていけないことがあります。

また、お年寄りの頭の中は、昔の記憶が大半を占め、交通量の多くなった現在の状況を実感としてつかみにくい心理状態にあります。

ず、いつまでも若い気持ちでいるケース
年をとると、体力をはじめ運動機能や感覚機能が低下します。しかし、本人はまだまだ若いつもりでいるため、この「意識

と現実」のギャップが、事故を招きやすくしています。
○ときに、身勝手と思えるような行動をとることがある
基本的な交通ルールを知っているお年寄りでも、身勝手とし

か思えない行動をとることがあります。
例えば、信号の変わりめで横断を始めたたり、近道をして横断してはいけないところを渡ったりしてしまふようなことです。

○——○
ドライバターの皆さん、お年寄り特有の心理や行動を理解し、お年寄りを交通事故から守りましょう。

地震に備える 防災訓練を実施

八月三十日から九月五日までは、防災週間でした。この期間中、本町では、町民のみならずの防災意識を高めようと、消防団と区役員を中心に「防災訓練」を実施しました。



▲防災訓練参加者に消火器の取扱いを指導

午前十一時に震度7の大地震が起き、電話・有線放送ともに断線、各地区で火災や家屋の倒壊が発生したことを想定。
消防団員と区役員の誘導で、避難活動や救出活動の訓練を行いました。

多数の参加者を期待し、日曜日にいった防災訓練でしたが、農家では稲刈の最盛期。
訓練への関心は、いまひとつ盛り上がり欠けたようです。
言いふるされた言葉ですが「備えあれば、憂いなし」。
災害から身を守るためには、日頃の心構えが、大切です。

地震に対する 家庭での心がまえ

大地震がもたらす災害にはどのようなものがあるのでしょうか。

地割れ、津波、山崩れ、山津波。しかし、いちばん発生の危険性が高いのは、何といっても「火災」ではないでしょうか。

大正十二年九月一日の関東大震災以来「地震イコール火災」といわれ続け、今ではだれもが地震の際の火の元には注意を払っているものと思われれます。しかし、次に挙げるような場合はどうでしょうか。

家人の留守中、電子ライターの上に家具が倒れ、その拍子にスイッチが作動し発火——という事例が、「日本海中部地震」で報告されました。確かにこれは珍しい例で、そう数多く起こることではないでしょう。しかし、これを不可抗力と片付けてしまつていいものでしょうか。

この場合、電子ライターに問題があるというよりは、倒れた家具に問題があった——つまり、家具などが倒れないように、あらかじめ金具などを使って固定しておけばよかったです。

震度五、震度六の地震に襲われたとき、どうしたらいいか分

かっていても何もできなかった、という体験談も多いようです。ですから、わたしたちは地震に備え、ふだんから家の中を安全にし、被害の原因を少しでも減らしておく必要があるのです。

▼地震に備える八つのポイント

- 1、家屋や塀などを点検し、弱い部分を補強しておく。
- 2、家具などが倒れないように金具で固定したり、置き方を工夫する。
- 3、火を使う器具設備の点検と整備をする。また、火気のまわりは、整理整頓しておく。
- 4、消火器や消火用水を用意し、消火の方法を身につけておく。
- 5、救急医薬品を準備し、応急手当ての方法を身につけておく。
- 6、非常持ち出し品を準備しておく。
- 7、家族で防災について話し合い、避難場所や避難経路を確認しておく。
- 8、隣近所の人々と協力し合える信頼関係をつくっておく。

上布施(十分団)に 最新型消防ポンプ車



町の消防設備充実に因るため、今年度は、上布施区(十分団)に消防ポンプ積載車を購入、八月三十一日、引渡式を行いました。

購入した積載車は、エンジン始動から放水停止に至る過程をボタン操作で行う全自動方式の可搬ポンプを備えた最新型。

いち早く消火活動に移れる機動力をかね備えたポンプ車です。

購入費は、三百九十五万円。

岩和田子ども会 ソフトボールの部で優勝

青少年のつどい夷隅地方大会

夷隅都市の子ども会の代表を集めた、「青少年のつどい」夷隅地方大会が、八月二十一日、岬町で開催されました。

この大会は、青少年相談員などが中心となって毎年開かれ、今年も各市町の代表二十四チームが、ソフトボールとミニ・バ



スケートボールの二部門に分かれて、競技を楽しみました。

本町からは、岩和田子ども会の男子と女子、浜とび魚子ども会の男子と女子が参加。

ソフトボールの部では、岩和田子ども会が、決勝で勝浦・豊浜子ども会を破って優勝。

岩和田子ども会は、十月に開催される「青少年のつどい」千葉県大会に、夷隅地区の代表として出場します。

町の話



御宿中学校が優良校に

♪ 学校音楽コンクール ♪

<なつかしの風景>



岩和田海岸

松本勝哉

第五十回NHK全国学校音楽コンクール千葉県大会で、御宿中学校合唱部が、優良校に選ばれました。

コンクールは、小学校、中学校、高校の部に分かれ、中学校の部には、六十九校が参加。八月二、三日に行われた地区予選で選ばれた十二校が、八月十一日、県文化会館で美しい歌声を競い合ったものです。

なお、最優秀校は、千葉大教育学部付属中学校、優秀校には、新松戸南中学校など、御宿中学校以外は、都市部の学校が選ばれました。

この写真は今から六、七十年前、大正十年前後のものと思われる。見渡す限り、岩和田の本場、新場には家がなく、砂と雑草とゴミの捨て場であった。浦中には納屋を含めて十軒ぐらいの集落が二つあり、境川近くに一つ、砂丘の中の一つである。赤樽にも二、三軒あったがその他は砂原と砂丘であった。

海岸近くの砂原が草地のように見えるのは、カジメを干してあるからで、点々と黒くあるのは、六尺角の三尺の高さに積んだカジメの山で、天気の良い日

は朝これを広げて干し、夕方にはまとめて積み、夜はむしろで囲っておくのである。

当時は夏の日雇いの労働としてカジメ人夫が大勢働いていた。体の効く海女は舟で沖へ行き、命綱をつけて海底に潜り、鎌でカジメを刈り、舟いっぱいになると渚に漕ぎよせ、舟から背負って砂場まで運ぶ。ヌルヌルしたカジメ汁を全身に浴びながらパンツも茶色に染まってしまうのであった。陸で働く人は手ぬぐいで頬っかぶりをしたり、菅笠をかぶったりして監督の指示で灼熱の砂場で一日働く。今考えると大変な労働だったのだろう。カジメ海女ができなくなると「オッカチャン舟」でさざえや鮑を探りに行ったという。乾いたカジメは焼いて灰にし、これをカマスに入れて会社に納める。カジメ焼きが始まり海が見えなくなるほど煙がいつぱいに広がる様子が少年の頃の思い出になっている。

註、明治四十年代に現代護士森美秀氏の祖父為吉氏が清海村守谷にヨードの会社を作り、社長になった。大正初期の第一次世界大戦の塩化カリの暴騰にカジメのおかげで、森氏はじめ関係者は莫大な財をなし、森氏の勃興はこの時に始まったのである。

御宿

郷土資料展に

二万人の出入

大多喜町の県立総南博物館で七月十二日から開催されていた御宿町の「郷土資料展」は、最終日の八月二十一日までに、二万六千二百二十人の入館者を集めました。

また、最終日の八月二十一日には、御宿町内の「歴史散歩」が行われ、県内の歴史愛好家三十人が参加。御宿町文化財審議員と町史編さん委員の案内で、先人たちが残した史跡を訪ね歩きました。



あなたの声を生かす—行政相談

十月十六日から二十二日まで「秋の行政相談週間」が行われます。

十二月二十二日に開かれる「心配ごと相談」で、この行政相談を受けています。

わたしたちが、毎日の生活の中で行政に対して持っている苦情や意見、要望などを聞き、公平・中立な第三者の立場でその一つ一つについて問題の解決を図り、行政の改善に役立てていく。それが「行政相談」です。

公共の場での安全の問題、悪臭などの環境問題、福祉にかかわる要望など、みなさんが日頃から思っていることを、行政相談員にご相談ください。それらにこたえ、行政運営に反映させることが、この制度のねらいです。

本町では、行政相談員の滝口松蔵さん（新町）が、毎月二日、

秋

夏バテ回復は バランスのとれた食事から

涼しい秋風が吹くころになると、自然と食欲がでてきます。

しかし、嗜好のおもむくままの食生活では、夏バテ回復にはなりません。

収穫の秋、食欲をそそる食事の工夫で、積極的に体力増進に努めましょう。

スタミナの回復は、栄養のバランスのとれた食事がきめてとなります。

身近な材料で、ポリウムのある「なすの肉みそはさみ揚げ」の料理を紹介します。

(御宿町栄養改善協議会)

なすの肉みそはさみあげ

材料4人分

なす	中6個
豚ひき肉	150g
玉葱	中4個
青しそ	4枚
根生油	1かけ
油	小さじ1
みそ大さじ3、砂糖	小さじ2
小麦粉	60g
卵	1個
水	1/2カップ
油	
キャベツ	150g
トマト	1個

作り方

1. なすは、縦目に皮をむき縦に二つ割りにし、縦に8位まで切りこみを入れて水につけてアク抜きをする。
2. 玉葱はみじん切り、青しそも同様にする。根生油はすりおろし、小さじ2杯の生姜汁を作っておく。
3. 鍋に油を熱し、玉葱、豚ひき肉、青しそ順にいため、生姜汁を加え、みそと砂糖で調味し12等分する。
4. なすの水気をきり、切りこみに小麦粉をまぶして②をはさむ。
5. 小麦粉、卵、水を加え衣をつくり、なすに衣をつけ中温の油であげる。キャベツはせん切り、トマトは、くり形に切り盛りあわせる。

早期発見が第一 住民検診のお知らせ

月日	地区名	場所	時間
10月17日(月)	久保	社福センター	午前 9:00~11:30
	浜	浜青年館	午後 1:00~ 4:00
10月18日(火)	高山田	高山田消防団詰所	午前 9:00~11:30
	六軒町	六軒町消防団詰所	午後 1:00~ 4:00
10月19日(水)	上布施	新久井青年館	午前 9:00~11:30
	実谷	浄水場	午後 1:00~ 4:00
10月20日(木)	新町	新町会館	午前 9:00~11:30
			午後 1:00~ 4:00
10月21日(金)	岩和田	岩和田青年館	午前 9:00~11:30
			午後 1:00~ 4:00
10月22日(土)	須賀	社福センター	午前 9:00~11:30
			午後 1:00~ 4:00

町では、次の日程で「住民検診」を行います。日頃、勤務先などで検診を受けられない方は、必ず受けてください。

検診項目

○四十歳以上の方
一般健康診査(検尿、血圧、

結核レントゲン検査、身長、体重、肥満度、問診)
異常のある方には、精密検査も行います。
○十八歳から三十九歳までの方
結核レントゲン検査
※なお、検診は無料です。

御小 時田校長逝く

御宿小学校の時田幸夫校長が、八月二十四日、肝臓がんのため逝去されました。

時田校長は、昭和十九年に千葉師範学校を卒業。布施中学校校長、大多喜小学校校長などを歴任。昭和五十七年四月、御宿小学校校長に就任。この間、学校経営、教育指導行政に実績をあげ、特に保健教育、理科教育の充実に力を注ぎました。

ご利用下さい (各種相談)

10月

相談日	月日	時間	場所	備考
健康相談	10月1日	午前9時 30分から	新久井青年館	一般住民対象
血圧相談	10月14日	午前9時 30分から	公民館	一般住民対象
乳幼児相談	10月12日	午後1時 30分から	公民館	一歳未満、母子手帳持参
心配ごと相談	10月12日	午前9時 ～正午	社会福祉センター	民生委員、行政相談員が相談に応じます。
農事相談	10月中旬	午前9時 ～正午	社会福祉センター	農地のトラブル等 開催日は有線放送します。

電話局からの

お知らせ

最近、民間の電話業者がみなさんのご家庭を訪問し、電話局から委託を受けているかのごとき口ぶりで、電話機の販売をしている例があります。

その業者と契約をされたお客様から「故障の際、修理はどうなるのか」などのお問い合わせが、多数寄せられています。

ご不審な点がありましたら、まず電話局へご相談ください。

○電話 ○四七〇七一―二九九一(無料ダイヤル)

※民間の電話機をお取り付けに

表彰

▽知事感謝状

町職員 式田俊夫さん

長年、県税の賦課徴収に協力し、県政に大きく貢献したこと、千葉県知事から感謝状が贈られました。



★★ おめでた ★★

八月届 男3 女4 計7

区名 出生児 保護者

久保 住廣 純 政良

新町 吉野 里沙 進

岩和田 市東かずみ 忠廣

〃 氏原 智之 茂

七本 吉野 実香 正敏

実谷 吉野 隼人 毅

〃 吉野 忍 桂

★★ おくやみ ★★

八月届 男1 女2 計3

区名 死亡者 年齢

住宅統計調査にご協力を

10月1日現在で住宅統計調査が実施されます。この調査は住宅及び世帯の居住状況の実態を把握して、住宅の現状と住宅事情の推移を明らかにし、住宅関係諸施策の立案及び実施の指針

10月13日に無料調停相談

十月十三日午前十時から、大

原町中央公民館で無料調停相談所が開設されます。

主催は、一宮地区調停協会です。相談の受付は、午後三時までです。なお、秘密は厳守します。

交通事故・土地建物・金銭・公害・家庭の問題などでお困りの方は、この相談所をご利用く

▽大原町中央公民館 電話04706(2)3621

短歌 (公民館短歌教室)

しきりなる虫の音聞きつつ草むらに秋風吹きて夏の日想ふ 幸保ひさ子
半袖のブラウス着ればわが腕に老残のしみ消す術もなく 平島 ふみ
露の葉にほたる包みし日も遠く開透く蒼き葉筋を想ふ 君塚 正子
ほとほとと菜を切る音をまどろみの中に聞きたいささやかな幸 滝口 君子
久々に帰省せし孫政局を夫と語りり背丈も伸びて 小池 のぶ
ふと知りしベトナム青年兄弟の人なつこき眼胸にしみ入る 斉藤 月子
わだかまり抱きて庭に佇めば虫の音しげき露草のかけ 市原かのゑ
ほほづきの赤きふくらみまさぐれば指の温みにかへりくる夢 麻生 久子
携えて海に遊びし遠き日の友の面影偲ぶ夕に 栗原 清

岩和田 岩瀬 つる
〃 市東 忠
実谷 吉野 だい
76 43 88

	県内	町内
発生件数	11,071件	17件
死者数	249人	0人
負傷者数	14,218人	27人

	8月末現在	前月比
男	3,946人(+3)	
女	4,375人(+2)	
計	8,321人(+5)	
世帯数	2,468世帯(+6)	

発行責任者 千葉県御宿町 高梨 秀治
編集 総務課広報係